

## 事業の目的

- ・長崎県は、離島・半島の面積が約7割という地理的特性から、特殊構造で延長の長い橋梁を数多く有し、それらは迂回路がない上に維持管理においては高度な技術力・ノウハウを求められる。
- ・本事業は、支間長※200mを超える橋梁7橋を対象に、官民連携(PPP)を基本とした長期契約により、持続可能で高度な予防保全の実行とLCCの縮減による長期供用の実現を目的とする。
- ・橋梁の維持管理に関する官民連携の取組は国内に前例がないことから、長期契約による官民双方の課題・効果を検証するため、2橋・5年契約でのスモールスタートを試行する。

## 対象橋梁

- ・重点維持管理橋梁のうち、支間長※ 200mを超える橋梁7橋を対象

## 【スモールスタート対象橋梁】

※支間長:橋を支える下部構造間の上部構造の延長

大島大橋

1999年架設(橋齢26年)



斜張橋 1,095.0m

伊王島大橋

2010年架設(橋齢15年)



鋼床版箱桁 876.0m

西海橋

1955年架設(橋齢70年)



上路式鋼アーチ 316.2m

生月大橋

1991年架設(橋齢34年)



下路式トラス 960.0m

鷹島肥前大橋

2009年架設(橋齢16年)



斜張橋 1,251.0m

若松大橋

1991年架設(橋齢34年)



下路式トラス 522.0m

平戸大橋

1977年架設(橋齢48年)



吊橋 884.6m

【位置図】

